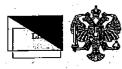
バスラ日誌(7月2日)-159号-

- 1 『クウェート日誌終わっちゃったね。 『エッ、ウソッ?全部見てたつもりだけど。』『最終号の前の日に書いてましたよ。」 見落としていた。 毎回読んでいたつもりだったのに、その日だけ。あった、あった、6月22日のLO報告に、クウェート 日誌第8号が。10日遅れで読ませて頂いた。報告内容にもご満足いただいたようで、ホッとしている。 イラク戦争中の教訓については出したくないのかと思っていたが、先日砲兵中隊の 少佐に会い、『お陰様で砲兵学校にはいい報告ができました。』 と御礼を申し上げたところ、今、教訓を各学校に纏めさせているのでもう暫く待って欲しいと言われた。(英国の各階級毎の学校に問い合わせていると言っていた。 将校教育、下士官教育等を受け持つ学校に問い合わせているらしい。) 手に入れば、かなり役立ちそうだが、離脱までに間に合うかどうかが心配である。クウェート日誌は「次回感動の最終回! か?」と書いて、本当に終わってしまうところが心憎い。流石である。バスラ日誌、次回感動の最終回!
- 2 MND(SE)の 師団長は、7月中旬に交代する予定である。それに併せて師団の主要な幕僚もここバスラを去っていく。それを過ぎれば、我々がここにやってきた時にいた人達は、(米軍を除き)誰もいなくなってしまう。その内の一人で、いつも私に日本茶の催促していた は、一昨日戦力回復から帰ってきたが、7月9日には英国へと帰国する。帰国直前の戦力回復は、J9部内の人員配置のやりくりから、仕方なくこうなってしまったようだ。彼は戦力回復から帰ってくると、「驚かせる物があるから」といって、30cm四方の箱を持ってきた。開けてみるとなんと、でっかいイングリッシュ・ティー・ポットが入っていた。私はいつも急須(といってもブラスティックと真鍮製だが)で日本茶を飲ませてあげていたが、紅茶はティーバッグしかなかったため、本物のイングリッシュ・ティー・ポットを見せたかったようだ。彼は「ミセス・サン(注:私の名前「はない」)に本物のポットでティーを飲ませてあげてほしい」といい、わざわざ私のために買ってきてくれたのだった。思わぬプレゼントに感謝したのだが、このでっかいティー・ポットをどうやって日本まで持って帰るかが、現在の悩みの種である。

3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(7月2日)

	区 分	内 容
1	警戒態勢等	変化なし: Threat Level
2	特記事項	サマーワ市内で発生したデモに関し重点的に情報収集を実施
	本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等
3		(2) 各種業務調整等 J2関連、明日以降の豪軍支援要請関連、通信器材等撤収関連、 (3) 各種ミーティング等
		英·豪軍作戦会議参加
4	明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5	その他(備考)	明日の射撃訓練なし